

死亡症例 (原因不明)

患者性別	患者年齢	患者年齢	医師記載副作用名	発現日	転帰日	PT	①心電図について	②-A 循環器既往歴	②-B 循環器家族歴	③-A 脳・呼吸器既往歴	③-B 脳・呼吸器家族歴	④剖検結果	タミフル開始年月日	タミフル開始時刻	死亡年月日	死亡時刻	死亡直前の経過 (投与開始日=Day0)	旧資料No.	
20 男性	25 年	25 年	下痢 死亡  虚血性心疾患の疑い	2007/02/05	2007/02/07	下痢  心筋虚血	-	-	-	-	-	-	2007/02/01	-	2007/02/07	10:30	Day4 --:-- 下痢(水様便、数回/日、脱水)にて受診。受診時、徒歩にて訪れぐったりしていることもなく全身状態が悪く なっている様子はなかった。胸部聴診音、脈拍も異常なし。 Day5 (夜) 友人訪問の際、挨拶をしている。 Day5 (夜) 家族が電話するも連絡がとれず。 Day6 10:30 死亡確認(前日夜から朝にかけて亡くなったと思われる)。	死-1-42	
21 男性	26 年	26 年	死亡	2005/03/02		死亡	-	-	-	-	-	脊髄の浮腫が認められた。脊髄が直径で2倍ほどに膨れていた。脳腔は若干せまいと感じたが、若い人であるのですぐに判断できない。脳の拡大(浮腫)は不明。間質性肺炎増(びまん性)を確認。	2005/03/02	-	-	-	Day0 --:-- 死亡(死亡疾患:脊髄浮腫、肝質性肺疾患)	死-1-20	
22 男性	26 年	26 年	突然死	2005/03/02	2005/03/02	突然死	-	-	-	-	-	(剖検所見添付) 病変1)両側肺うっ血水腫 2)両側胸水 3)肝うっ血 4)腎うっ血 5)脾うっ血 6)胃うっ血 7)小腸うっ血 8)結腸うっ血 9)気管支周囲リンパ節腫脹 10)腸間膜リンパ節腫大	2005/03/02	16:30	2005/03/02	18:45	Day0 17:00 自室に入る。 Day0 17:40 家人が意識消失しているところを発見。救急搬送。 Day0 17:55 救急搬入時、心肺停止、瞳孔散大。心肺蘇生開始。人工呼吸を行うも血中酸素濃度上昇せず。高度のアシドーシスを認める。静脈血PH7.00。気管内チューブからピンク色の泡沫状液が排出され、徐々に血性に近い色になる。 Day0 18:45 死亡確認(死亡疾患:突然死)	死-3-1	
23 男性	31 年	31 年	心肺停止	2004/02/24	2004/02/25	心肺停止	-	-	-	-	-	気管及び気管支内に赤色結物を多量に容れ、粘膜の発赤著明。肺割面では斑状の出血巣散在、食道下部粘膜、胃粘膜に出血傾向あり。	2004/02/24	13:00	2004/02/25	0:44	Day0 19:30 自室にて就寝。 Day0 23:20 布団の中で仰臥位をとっており、呼名に反応せず。体が冷たくなっており、呼吸を認めないため救急要請。 Day1 0:03 救急搬入。心肺停止状態。心肺蘇生。 Day1 0:44 死亡確認(死亡疾患:ウイルス性肺炎)。	死-1-12	
24 女性	32 年	32 年	急性心不全	2006/02/13	2006/02/13	急性心不全	-	-	-	-	-	-	2006/02/12	-	2006/02/13	5:28	Day1 4:00 呼吸を認めないため救急要請。救急到着時、心肺停止。 Day1 5:05 救急搬入。心肺停止にて蘇生開始。 Day1 5:28 死亡確認(死亡疾患:急性心不全)。	死-1-29	
25 男性	32 年	32 年	突然死 (心肺停止)	2007/03/29	2007/03/29	突然死	-	-	-	-	-	(剖検所見添付) A. 主病変: インフルエンザ+扁桃炎+気管・気管支炎 B. 副病変 1. 脳浮腫(脳重量1370g) 10%程度増加 2. 肺うっ血(肺重量左380g、右330g) 3. うっ血肝(肝重量1640g) 4. ショック腎+うっ血腎(重量左170g、右160g) 死亡後、血液培養陰性、動脈硬化症はほとんどなし、冠動脈狭窄ほとんどなし、心筋著変なし、胸腺腫脹なし、大動脈狭小化なし、脳ヘルニアなし、心重量310g、胸腹水なし、心嚢液なし	2007/03/28	15:00	2007/03/29	3:45	Day1 0:00 タミフル1cap服用後、通常通り会話後自室に入り就寝。 Day1 2:00 呼吸を認めず救急要請。到着時、心肺停止状態。 Day1 2:25 救急搬入後、心電図上心静止状態。人工呼吸、心マッサージ施行。 Day1 3:45 蘇生を行うも改善せず死亡確認(死亡疾患:突然死)。	死-2-2	
26 男性	34 年	34 年	突然死	2002/12/18	2002/12/18	突然死	-	-	-	-	-	祖父:突然死	2002/12/17	20:30	2002/12/18	7:00	Day0 20:30 就寝。就寝時発熱は見られたが意識レベル正常。横で家人が就寝していたが、特に苦しみようなことはなく異常を認めなかった。 Day1 7:00 死体で発見。死斑強く、死後硬直を認める。推定死亡時刻0:00前後。	死-1-47	
27 男性	34 年	34 年	心肺停止	2002/02/08	2002/02/08	心肺停止	-	-	-	-	-	剖検または検死の所見: 急性循環不全を示唆する所見がみられるが、突然死の原因となる所見はみられなかった。	2002/02/08	12:00	2002/02/08	14:00	Day0 12:00 就寝。 Day0 14:00 呼吸を認めず救急要請(苦しんだ様子はなかった)。救急到着時心肺停止。心蘇生を行いつつ搬送。 Day0 14:45 救急搬入。心肺蘇生、補助循環を施行。頭部・胸腹部CTを行うも異常所見なし。 Day0 18:45 死亡確認。	死-1-7	
28 女性	36 年	36 年	突然死	2007/03/10	2007/03/10	突然死	心電図所見: 頻脈、ST変化?	(問診上なし)	-	-	-	-	-	2007/03/09	12:00	2007/03/10	6:15	Day1 4:30 巡回時、異常なし。 Day1 6:00 呼吸停止状態で発見。 Day1 6:15 死亡確認。	死-1-55
29 男性	38 年	38 年	突然死	2005/03/14	2005/03/14	突然死	-	-	-	-	-	-	2005/03/13	11:00	2005/03/14	夕	Day-13 --:-- 高血糖(540mg/dL)を認め外来紹介。入院勧めるも拒否。 Day-4 --:-- CT実施: 小脳、基底核に異所性石灰化あり。知的障害が見られた。 Day-3 --:-- 意識レベル低下。会話がかるうじて可能な状態。電解質異常を伴う糖尿病性昏睡。血糖1059mg/dL。 Day-2 --:-- 意識状態は会話が可能な状態。 Day-1 --:-- 血糖、意識は改善。 Day0 --:-- 朝から発熱。 Day1 6:35 「弁当はまだですか?朝も夜も食べていない」と訴えた。説明するも何度もコール。 Day1 9:00 解熱し、血糖もかなり改善。電解質正常化。 Day1 (夕食後) 「タバコが吸いたい」と会話した約10分後に看護師が急変に気づき、心、呼吸停止状態で挿管。心マッサージ等施行するも効果なく死亡(死亡疾患:突然死)。	死-1-53	
30 女性	38 年	38 年	変死	2005/03/01	2005/03/01	死亡	-	慢性肺炎	-	-	-	死体背部、腹部に点状出血斑(紫斑)。	2005/02/28	15:48以降	2005/03/01	-	Day1 (朝) 朝起きてこない。布団の上でうつぶせになって死亡していた。	死-1-30	
31 男性	39 年	39 年	突然死	2005/02	2005/02/20	突然死	-	-	-	-	-	推定死亡時刻: 就寝3時間後。主要所見: 拡張し重い心(448g、炎症なし)、肺水腫(肺炎なし)、尿トライエージ検査陰性、血中トロポニン検査陰性。拡張型心筋症による急性左心機能不全と診断。	2005/2/X	22:00頃	2005/2/X+1	-	Day0 22:00 就寝 Day1 (朝) 仰臥位、心肺停止状態で発見(死亡疾患:肺水腫、急性心不全)。	死-2-11	